



夏の学習支援活動

～豊富町「学びの教室」サマーチャレンジ、「まちラボ」無料塾～

執筆者: 米津直希(本学講師)

豊富町「学びの教室」サマーチャレンジ

8月12日から14日の2泊3日、豊富町のセミナーハウスにて、「学びの教室」サマーチャレンジが開催され、講師として本学教職ゼミの学生が参加しました。豊富町教育委員会から、有償ボランティアのお願いとしてお声掛けいただきました。

対象は豊富小学校、兜沼小学校、豊富中学校の児童生徒たちで、夏休みの課題の支援をしました。また、すでに夏休みの課題を終えている児童生徒に対しては、大学生が事前に課題を作成し、学習の定着を図りました。中学生の中には、小学生の学習サポートを希望する生徒もあり、大学生と一緒に講師役を務めました。

大学生の用意した課題が参加児童に簡単すぎて、夜に急遽、新しい問題を用意したり、子どもとのコミュニケーションがうまく取れなかったりするなど、困難な状況にも直面しましたが、それらがかえって重要な経験になりました。

学習会終了後には、中学生とのふれあい活動として、パークゴルフ、スラックライン体験をしました。また、豊富町教育委員会の方々との交流会(夜のBBQ)をしたり、豊富温泉での湯治のため豊富町に定住した方々のお話を聞いたり、その方々とワークショップを行ったりするなど、様々な学びを経験することができました。



学生の感想から



学生からは、「地域の子どもたちと密接に関わることができた」「子どもへの支援は地域とつながる手段になると思う」などの声がありました。

一方で、わかるように教えたり、メリハリを持って指導することについて、まだ力量が足りないと感じるなど、学習指導における課題を把握することができました。



「まちラボ」無料塾

8月3～6日(4日は休館日)の14～16時、本学の「まちなかメディアラボ」で、教職ゼミの学生が講師となって無料塾を開催しました。

無料塾は、夏休みにおける地域の子どもたち(小・中学生を対象)への学習支援として行ったものです。3日目にあたる8月6日には、東地区の学童児童が来塾してくれたため、大変盛況でした。

また、毎日通ってくれた小学生もいました。後日、その子たちの小学校校長先生から聞いたお話から、無料塾での学習を楽しみに通ってくれていたこともわかりました。

児童生徒がすでに集まっているところに行くのではなく、子どもたちが「お客さん」として「来てくれる」体験は、学生にとってとても刺激的でした。

無料塾は、今後、定期的開催する予定です。



夏休み中の学習支援活動は、大学生にとっては子どもと直接触れ合える重要な機会です。それと同時に、学生同士の交流を深め、絆を強める大切な機会でもあります。

そうした意味でも、今夏の活動は大変有意義なものとなりました。

